第 18 回　安佐南区回復期生活期連携推進の会

開催のお知らせ

開催日　平成 27 年 5 月 18 日（月）

場　所　安佐南区総合福祉センター　6 階会議室

公式サイトを参照してください→http://shakyo-hiroshima.jp/asaminami/about/riyou.html

時　間　午後 7 時～

内　容　テーマ：生活期のリハビリテーション（通所・訪問）が変わります！！

～ケアマネジャー、回復期・生活期のリハ職が知っておくこと～

発表者：米澤一志（ケアプランよりしま）

野坂寿子（デイケアよりしま）・熊田健司（デイケアなごみ）

情報交換会：グループワーク

【　今回のテーマについて　】

患者様（利用者様）が病院を退院後、次にリハビリテーションを担うのは生活期のスタッフです。今回の介護報酬改定で、生活期のリハビリテーションは大きく変わることになりました。通所や訪問リハにも、ケアマネにも高いマネジメント能力が要求されます。今回の研修会に出席すれば、回復期にとっては受け入れ先の生活期リハの実情を知ることができますし、ケアマネの皆さんはリハビリテーションマネジメントが具体的に何なのか、はっきりするかも知れません。主に通所リハビリテーションの内容を中心に現在の最新情報と、実際の事例から新しい生活期のリハビリテーションマネジメントを学びましょう！

今回の研修会で学べること↓

- リハビリテーションマネジメントとは
- 通所リハの加算・書式の変更
- 通所リハと通所介護はどう違う？
- 回復期のリハと生活期のリハの違い
- 事例報告
- 回復期の療法士・相談員に求められること
- 介護支援専門員に求められていること
- 居宅サービス計画書の重要性
- 理学療法士・作業療法士の違い
- 安佐南区・安佐北区の通所リハの実情

広島市立リハビリテーション病院にて

広島共立病院にて

お問い合わせ：

安佐南区回復期生活期連携推進の会 事務局　野坂寿子（ケアプランよりしま内）

電話：962-1232　FAX：850-1028　メール：nosaka@yorishima.com

第 18 回　安佐南区回復期生活期連携推進の会 開催のご報告

平成 27 年 5 月 18 日（月）19：00 より　安佐南区総合福祉センター

■ **今回のテーマ**　「　生活期のリハビリテーションが変わります！！　」
～ケアマネジャー、回復期・生活期のリハ職が知っておくこと～

「介護支援専門員から見た今回の介護報酬改定」
～リハビリテーションマネジメントに関連して～

米澤一志（ケアプランよりしま）
地域包括ケアの実現のために介護支援専門員には質の向上が求められており、自立支援、医療と介護の連携が課題であるとされている。一方多くのケアマネジャーは、特にケアプラン作成の際の目標設定に苦労することが多いという報告がある。今年度の介護報酬改訂では、多職種連携をこれまでより強く要求する加算が増えたことで、ケアマネジャーはもっとリハビリ専門職の力を借りることができるようになった。

「生活期のリハビリテーションが変わります」
～他職種協働を実現するための具体的仕組みの導入～

野坂寿子（デイケアよりしま）
そもそもリハビリテーションマネジメントは多職種協働を基本としているが、これまでの生活期リハは回復期リハの続きである、という誤解がある。本来生活期は生活機能に対するリハビリが行なわれ、生活に関わる職種全てがチームとして動くことが求められる。今回の介護報酬改定は多職種協働を更に強調し、“リハビリ”がアセスメント、カンファレンス、計画、実施、見直しの流れで評価するものとなっている。

「これまで、苦労してきたこと」
～これからに期待をかけて～

熊田健司（デイケアなごみ）
今回の介護報酬改訂による各種加算の算定要件を満たすには生活期の事業所側にかなりの負担が要求される。しかしこれまで、マネジメントされなかったために療法士は葛藤を抱えてきた。本来すべきであったことにこれまで手が回らなかったという反省と今後療法士が時間を割いてマネジメントに加わるための、事業所としての工夫が必要である。また、医師・本人・家族の協力を得るための努力も欠かせない。

グループワークと決意表明
ケアマネジャー、回復期病院、地域の医療機関、通所リハ・訪問リハ・通所介護事業所、地域包括支援センター、福祉用具など、それぞれの立場のスタッフとしてこれから何ができるか、どうしていきたいか

通所リハ相談員

通所リハ理学療法士

回復期理学療法士

訪問リハ理学療法士

地域包括支援センター

安佐北区ケアマネジャー

安佐南区ケアマネジャー

安佐南区ケアマネジャー

【 今回お集まりいただいた皆様：事業所別 】

（居）にのみや
（居）古の市
（居）菜の華
（居）信愛会
（居）かんべ村
（居）いでしたケアプランセンター
（居）あいの丘
（居）生協ひろしま
（居）ケアプランよりしま
（居）あすか
（居）東原慈光園
（居）ニチイケアセンター中筋
（居）ファミーユ祇園

広島市立リハビリテーション病院
日比野病院
ぎおん牛田病院
エコール訪問看護ステーション
中田クリニック訪問看護ステーション
特別養護老人ホーム川内の里
いでしたリハビリステーション＆デイ高取
日本基準寝具エコール事業部
城山北・城南地域包括支援センター
祇園・長東地域包括支援センター
東原・祇園東地域包括支援センター

（医）デイケアそよかぜ
（医）デイケアなごみ
（医）野村病院通所リハビリテーション
（医）デイケアすてっぷ
（医）デイケア野の花
（医）デイケアもみの木
（医）デイケアながお
（医）デイケアたまゆら
（医）老人保健施設しんあい
（医）介護老人保健施設とやま
（医）小島クリニック通所リハ
（医）デイケアよりしま

第 18 回の参加状況：

10 職種 79 名

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・社会福祉士・介護福祉士
介護支援専門員・医療ソーシャルワーカー・支援相談員・福祉用具選定士

今回は安佐南区だけでなく安佐北区のケアマネジャー、通所リハビリテーション施設にも参加していただきました。足元の悪い中、時間を割いてお集まりいただきありがとうございました。回復期と生活期の連携の絆を、地区を越えて強めるための第一歩を踏み出すことが出来ました。今回の会でお考えになったことを、参加された皆さまが現場に持ち帰り、実際の支援や治療に活かしていただけることを役員一同心より願っております。

次回の開催は７月に計画いたします。今後とも会の運営にご参加・ご協力・ご指導いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

平成 27 年 5 月 29 日

お問い合わせ：
安佐南区回復期生活期連携推進の会 事務局　野坂寿子（ケアプランよりしま内）
電話：962-1232　FAX：850-1028　メール：nosaka@yorishima.com